

森の技術と安全

参加
無料

— 森林ボランティア新時代の安全を考える —



日時 2013年 8月3日 土曜日 13:30 ~ 16:30

会場 イトーキ東京イノベーションセンター SYNQA セミナールーム (東京メトロ京橋駅直結)

第1部 基調対談

島崎洋路さん「みどりの文化賞」受賞記念

「森の技術と安全」

(語り手) 島崎 洋路 × 浜田 久美子 (聞き手)
島崎山造り塾/元信州大学教授 作家

第2部 パネルディスカッション

「森づくり活動の新しい広がりと 安全への取り組み」

竹垣 英信・丹羽 健司・松井 一郎 ほか

近年、企業のCSR活動や学校の環境教育プログラムに森林活動が取り入れられるなど、森林ボランティア活動の裾野拡大が感じられます。しかし、安全確保の取り組みにはばらつきがあるのでしょうか？

このシンポジウムでは、新しい森林ボランティアへの参加のかたちや、その中で望まれる安全確保の取り組みについて、講演者と参加者がともに考える場をつくります。

★シンポジウム終了後、意見交換会を開催します (会費 3,000 円)。

※シンポジウムのみ参加は無料です。

主催：森づくり安全技術・技能全国推進協議会 森づくり安全技術・技能標準化促進委員会

協賛：株式会社イトーキ 後援：林野庁 公益社団法人国土緑化推進機構 日本林政ジャーナリストの会 (予定あり)

協力：NPO 法人 森づくりフォーラム 一般社団法人日本森林技術協会

森の技術と安全

—森林ボランティア新時代の安全を考える—

講演者紹介

島崎 洋路——語り手

信州大学教授を退官後、長野県・中央アルプス山麓に山小屋を建て「山造り承ります」「島崎山林塾」の看板を掲げて林業の現場技術者の育成に尽力。長年現場で得た経験をもとに、「列状間伐法」や「保残木マーク法」などの間伐技術を考案し、各地の山林所有者に山造りの技術を伝えてきた。現在でもとよた森林学校、KOA 森林塾などで講師を務め、ボランティアの育成を続けている。これらの功績により、2013年、第23回「みどりの文化賞」を受賞した。

浜田 久美子——聞き手

精神科カウンセラーを経て、木の力に触れたことから森林をテーマとした著述家となる。森林や木と自分たちの暮らしがつながることで人にとっては安定、森には安泰をもたらす、との視点で活動。著述や講演などを通じ森の効果を説き、山に入り森とのふれあい体験を続ける。著書に『森の力—育む、癒す、地域をつくる』（岩波新書）など。

竹垣 英信

千葉県出身。2003年5月、森のライフスタイル研究所を設立。若い世代と一緒にバスで出掛ける、植林や草刈り、間伐などの作業を行なう森づくり体験ツアーを毎月開催している。10歳の娘と7歳の息子の父。

丹羽 健司

奈良県生まれ。木の駅アドバイザー。市民参加型の森林調査「森の健康診断」、「山里聞き書き塾」、木の駅プロジェクト、「組手仕」による木育木装運動などを全国に普及している。

松井 一郎

NPO 法人 森づくりフォーラム理事。東京都環境局主催「多摩の森・大自然塾」森林ボランティア講座の運営・講師を務めながら、安全・技術・心得など指導に10年以上携わる。

宮林 茂幸 コーディネーター

東京農業大学 地域環境科学部長、森づくり安全技術・技能全国推進協議会 理事長。農山村と都市の交流、森林と社会のかかわりについて高い知見を持つ。

会場アクセス

京橋駅（東京メトロ銀座線）2番出口 直結

宝町駅（都営地下鉄浅草線）A4 出口から徒歩3分

銀座一丁目駅（東京メトロ有楽町線）A7 出口から徒歩7分

東京駅（JR線・東京メトロ丸の内線）八重洲南口から徒歩10分

所在地：東京都中央区京橋3-7-1 相互館110ビル2階

より詳しくは SYNQA 公式サイト (<http://www.synqa.jp/>) へ



参加登録方法 **参加登録締め切り：7/28（日）**

Web 協議会ウェブサイト (www.mori-anzen.com/) から登録フォームへアクセスし、必要事項を入力してください。

FAX 以下の参加登録票を FAX でお送りください。
送信先：03-3261-5393

※ご記入いただいた個人情報は、シンポジウム開催に必要な業務の他には使用しません。シンポジウム終了後は適切に破棄いたします。

お名前		電話番号	
所属団体・会社名			
ご住所			
交流会	参加する・参加しない	メールアドレス	